



奥道後壺湯の守 別邸 坪中川

ロイヤルスイート 一棟貸宿泊





## 歴史ある佇まいと日本庭園で過ごす 楚々とした贅沢

「坪中川」は、東京の赤坂にあった料亭「中川」を昭和58年に解体、移築したものです。できるだけ当時の本物を遺し、尚且つ現存の実物を磨き込んで、体験ではなく体感を軸に保存改修いたしました。前庭は足立美術館創設者の足立全康氏の手による唯一の純日本庭園でそれぞれの物語を秘めた屋敷を丸ごと一棟貸しで奥道後壺湯の守ロイヤルスイートとさせていただきます。

世界の本物嗜好の方々への対応を兼ねており、Japanesqueを満喫できる空間を目指し、二度と同じ景色はない四季の一期一会を軸に旬の食材を楽しんでいただく事を旨としております。

一日一組限定。  
一棟貸切で大切な時間を感じる  
とき



新座敷ダイニング



日本庭園

ライトアップされた枯山水を眺めながら、お食事をお楽しみいただけます。



談話室

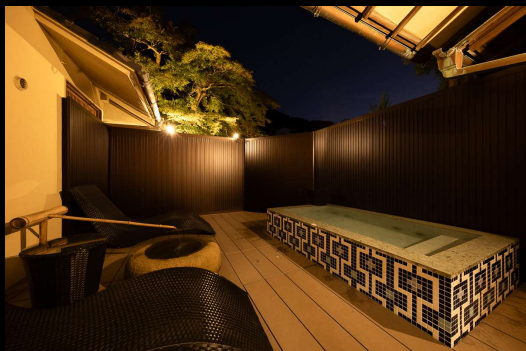
昭和の面影

この部屋は著名な文人墨客、歴代首相、高級官僚、財界、軍部最高幹部等が集った場所として写真や逸話が残っています。岸信介、吉田茂、田中角栄、三木武夫、竹下登等の記憶に新しい政治家たちもこの場所、この椅子でそれぞれの意見や主張等を交わしていた事が登場の週刊誌等に掲載されています。表裏一体の昭和という時代、手狭ながらもその裏側の独特の世界観の名残りが最も窺える部屋。

露天風呂（温泉）

湯舟を当時の建造物の年代に合わせて昭和のモザイクタイル風のデザインで復元しました。天空間に枯山水庭園の青紅葉が覗きつつ、開放的な空間に仕上げております。タイミングが合えば、樹木の葉音や野鳥などの自然の多様な声を聴くことができます。

豊富な湯量、効能豊かな泉質を誇る奥道後源泉の湯守としておもてなしいたします。アルカリ性単純硫黄泉（pH9.4）の泉質で湧出量が毎分400リットルの豊富な源泉です。





## 寝室

昭和モダン的なアールデコ空間を本物を交えながら構成し、なお五行学に基づき西枕による健康的配慮、就寝スペース、照度なども考慮し、空間を作っております。



## 2階

広々とした空間に身を置く静寂や座禅、床の間での写真撮影などを体験できる空間としております。

祝言・慶事・記念日

祝言・慶事・記念日のご利用もいただけます。

# ライトアップされた枯山水を眺めながら 料理長厳選の食事を



牛フィレオイルフォンデュ



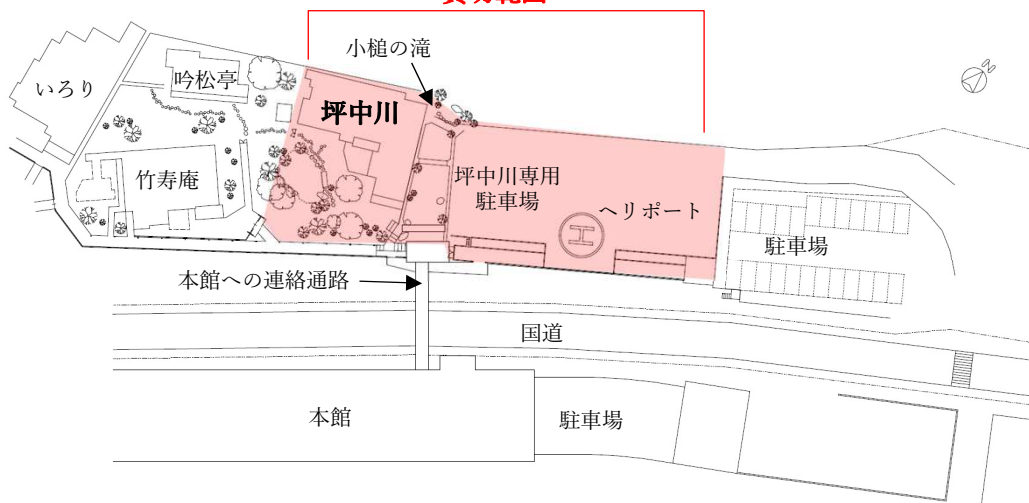
季の会席



朝食（洋食・和食）

## 坪中川 施設のご案内

### 貸切範囲



敷地全体図

### 小槌の滝

駐車場及びヘリポートから小槌の滝前の橋を渡って、坪中川へご案内いたします。  
お庭も含めて貸切となっておりますので、ごゆっくりご散策ください。

### 日本庭園

坪中川の前庭は、足立美術館創設者の足立全康氏の意匠による唯一本人立ち合いの純日本庭園です。

### 坪中川専用駐車場

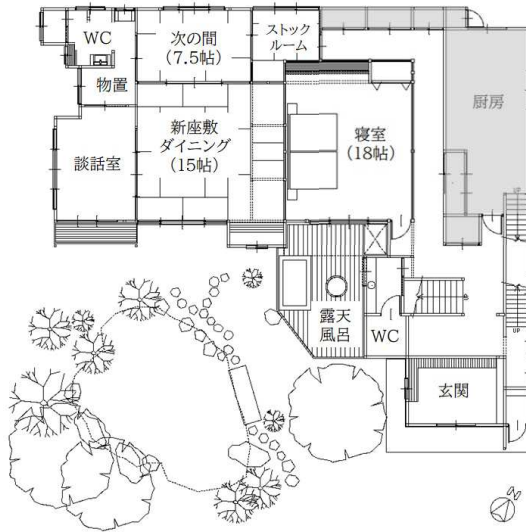
チェックイン後は入口は閉門いたします。

### ヘリポート

ヘリポートご利用の場合は、ご予約時にお知らせください。

建物424㎡ (1階235㎡ 2階189㎡)  
坪中川敷地 (前庭含む) 約200坪  
室内禁煙 1~2名様  
クイーンサイズ 幅160cm×長さ195cm 2つ  
Wi-Fiあり (無料)  
チェックイン15時 チェックアウト11時  
(チェックイン&チェックアウトはすべてお部屋で完結)

## 坪中川 施設のご案内



グレーの部分はスタッフのみの入室となります。

1階フロアマップ

### 坪中川リノベーションコンセプト

地域の文化施設の保存を第一とし、現代手法・技術による補強や修繕により往年の輝きを取り戻した後、後世にもその意義や目的を伝承していく事を旨としております。そして世界中の方々に日本建築、造詣、文化等をただ見せるだけではなく、体感という形で紹介することも意義の中に含まれております。できるだけ本物を当時のまま伝えるという事で日本の木造建築ならではの「隙間風」や「外音遮断」、「断熱」等で不快な思いをさせてしまうかもしれませんがご了承くださいませに存じます。重要建築物のため、経年によるスレや汚れ等があります。また、間取りの制限等により、洗面や脱衣部分等、動線がスムーズでない箇所もあります。バリアフリー対応になっておりませんことをご理解いただきますようお願いいたします。

## 客室設備・アメニティ

ストックルーム 冷蔵庫、コーヒーメーカー、電気ポット、グラス、カップ&ソーサー、湯呑など

寝室 クイーンサイズのベッド2つ、セーフティーボックス、空気清浄機、ドライヤー、ヘアアイロン、ハンガー、洋服ブラシ、消臭スプレー、マルチ携帯充電器、バスタオル、フェイスタオル、ハンドタオル、バスローブ、羽織、浴衣、パジャマ、スリッパ、湯かご

物置 ズボンプレスサー、アイロン、アイロン台

その他 マッサージチェア、TV、ポータブルスピーカー、傘、靴ベラ

アメニティ バスアメニティ (シャンプー・コンディショナー・ボディソープ)、ボディタオル、歯磨きセット、スキンケア (クレンジングオイル・洗顔ソープ・ローション・美容液)、綿棒、コットン、コム、シャワーキャップ、ひげそり、スリッパ、湯たび

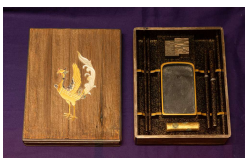
## 坪中川 室礼などについて

※本物を使用しておりますので、経年による汚れ、キズ、ヤブレなどがありますが、ご了承くださいませ。



### 1階 玄関

「一嘗三嘆」とは、正岡子規が同郷の友人・清水則遠にあてた手紙（『子規全集』18巻 講談社 1977年 75頁）の中で、故郷、松山の好みの鯛料理について、絶賛する際に用いた言葉。優れた詩文を褒め称える際に「一度うたう間に何度でも感動する」の意味で用いる「一唱三嘆（一倡三歎とも）」という言葉をもじったもの。別邸坪中川の総合監修を行った松山兎月庵 庵主による揮毫です。



### 1階 廊下

銀閣寺の古材を使った冠台と硯箱。吉祥文である鳳凰を陶器で表現し、縁起の佳い美術品として伝世しております。



### 1階 寝室 ランプ

1930年のアメリカアールデコスタンド。この文化が日本独特の昭和初期のアールデコに繋がっていき、アール（曲線）と直線（デコ）を融合させた昭和モダンへと導かれていきます。



### 2階 屏風

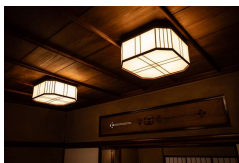
池上秀敏（いけがみ しゅうほ）壬戌初秋大正11年（1922年）作 明治時代から昭和にかけての日本画家。特に山水・花鳥画を得意としました。長野県上伊那郡高遠町（現在の伊那市）生まれ。本名は國三郎。高遠藩・御用絵師に狩野派を学びました。



止観明静 前代未聞 酒泛杯中玉 香浮紙上烟

### 2階 襖 今東光 直筆

小説家であり随筆家、そして、和尚としてまさに破天荒な人生を歩まれた「今東光（こんとうこう）」先生の直筆の書があります。昭和50年12月、先生がご来奥され、宴席を楽しまれている最中、会場の襖が無地だったのを見られた先生は、「寂しいから一筆走らせよう」と、その場で襖に一気に筆を走らせ、二枚の書を遺されました。



### 照明器具

球だけをLEDに変更し、できる限り当時の照明器具を使用しております。



# 奥道後壺湯の守 別邸 坪中川

予約・お問い合わせ

電話 089-977-1111

〒791-0122

愛媛県松山市末町乙267-1



公式HP

